

視察見学

スローライフ学会から参加した、登壇者も含む全 36 人のうち、18 人は貸切バスで視察見学をしました。コロナ禍で、バスに乗る人数を少なめにしたため、車で移動の方も多く、それぞれにあらかじめ郵送したパンフレットを参考に、自主視察をする形をとりました。

※ここでは、晴天に恵まれたバス視察の様子を報告します。

11 月 20 日（土）

11 時 45 分：近鉄橿原神宮前駅集合

12 時 00 分：出発

- ・車内ではまずは奥大和の味「柿の葉寿司」で昼食。これから訪ねる谷瀬集落の伝統珍味「ゆうべし」のひとつ切れも味わいました。
- ・長い道のりを、ビデオを観たり、「十津川鼓動の会」の語り部さんから細やかにご案内を受けて。
- ・まだまだ生々しい紀伊半島大水害の傷跡も車中から眺めました。



14 時 00 分：十津川村谷瀬集落視察

- ・昭和 29 年、一軒 20 万円ものお金をだして集落の力で掛けた「谷瀬の吊り橋」。水害に悩んできた村が、いかに安全な橋を求めていたかがわかります。今は村で一番の観光スポットに。
- ・集落の人々が整備した「ゆっくり散歩道」。そこに造られた水車や復興住宅を見学。
- ・加工場では干し芋が盛んに作られています。





- ・ 空き家を集落と奈良女子大生が整備した休憩所「こやすば」も見学。
- ・ 集落の住民が運営する「吊り橋茶屋」の新製品「酒粕アイス」は視察に訪れた都市の人々に好評でした。

16時00分：「高森のいえ」視察

- ・ 特別養護老人ホーム「高森の郷」の隣接地に、平成29年に完成した村営住宅。集落から離れた地域で高齢者が孤立しないように、ここに集まって暮らす施設です。
- ・ 一般向けの住宅棟もあり、周囲の住民とも交流でき、周囲の子どもたちが遊んだりイベントにも使われる広場もあります。ハードだけでなく心の安心





もある住まい方です。
・十津川産の木材をふんだんに使った室内。見学して「うらやましい」の聲が上がりました。
17時15分：十津川温泉着。

※車利用の方も同行

11月21日（日）

8時00分：十津川温泉出発

8時15分：果無集落視察

・ちょうど朝霧に包まれた山々が美しく、世界遺産の古道に皆が感激しました。

・その中に住む地元の方々の、訪れる人への小さな心遣いに感心し、「人に会わなくてもぬくもりを感じた」と感想が。



このほかフォーラム終了後も含めて、「空中の村」「玉置神社」「道の駅十津川郷」などに何人もが立ち寄りました。

